

## ネパール政治ニュース（18年6月）ヘッドライン

政 治	
内政	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 1日、KP オリ首相は、連邦社会主義フォーラム・ネパール（FSF-N）の連立政権参加に伴い、内閣改造を行った。FSF-Nのウペンドラ・ヤダブ党首は、副首相兼保健・人口大臣に任命された。また、同党のモハマド・イステイヤック・ライ議員は、都市開発大臣に任命された。オリ内閣の閣僚数は24名になった。</li><li>(2) 1日、オリ首相は内閣改造を行い、イシュワル・ポカレル国防大臣を新たに副首相に任命し、ゴクル・プラサド・バスコタ情報通信担当國務大臣を情報通信大臣に昇格させた。</li><li>(3) 4日、第3州の暫定州都であるヘトウダで開催された州議会において、オリ首相は、連邦政府は全ての権利を掌握しておらず、地方・州・連邦という3つのレベルで分権されていると述べた。また、ネパールは新システムにおいて、各レベルで開発に向け取り組むべきだと述べた。一方、州議会においてオリ首相が発言したことに対し、野党州議員から、州政府の自由な判断を阻害するとして反発の声が上がった。</li><li>(4) 8日、連邦下院議会は、下院議会法（House of Representatives Regulation, 2075BS）を承認した。</li><li>(5) 10日、連邦上院議会は、上院議会法（National Assembly Regulation）を承認した。</li><li>(6) 18日、上院議会にて、憲法第86条に従い、くじ引きによる任期の決定が行われた。59名の下院議員のうち、19名が2年間、20名が4年間、20名が6年間の任期となった。</li><li>(7) 26日、オリ首相は、上院議会で、6月19日から24日までの中国訪問に関し、二国間関係を新たな段階にするものであったと報告した。</li><li>(8) 29日、大臣評議会において、新しい医学教育法案を下院に提出することを決定した。</li></ol>

<p>外交</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 6～11日、チェトリ国軍参謀総長は、インドを訪問した。</li> <li>(2) 9～13日、ギャワリ外相は、会議出席のためモンゴルを訪問した。</li> <li>(3) 11日、ポウデル外務報道官は、ネパール政府が国連に対し、当地の政治局（DPO）の閉鎖を通達した旨発表した。</li> <li>(4) 14日、スイスのベルンにおいて、ネパールとスイスの第2回二国間協議が実施された。ギャンシャム・バンダリ・ネパール外務省局長及びMatyssy大使がそれぞれの代表団を率いた。第1回目の二国間協議は2016年に開催された。</li> <li>(5) 18～22日、パキスタンのハヤト統合参謀本部会議議長がネパールを訪問した。</li> <li>(6) 19日夜、K Pオリ首相は、李克強中国首相の招待で中国への公式訪問のため北京に到着した。北京国際空港には中国政府高官やポーデル駐中国ネパール大使等が出迎えた。</li> <li>(7) 20日、オリ首相は、人民大会堂において習近平国家主席と会談した。両首脳は、両国間に関係する様々な事項や、国境を越えた鉄道による連結性をはじめとする様々な分野における二国間の更なる協力のための方途について協議した。</li> <li>(8) 20日、オリ首相立ち会いの下、ネパール電力公社（NEA）と国家电网公司（State Grid Corporation of China）との間で、ネパール・中国間の越境送電線事業の実行可能性調査に関する合意文書の署名が行われた。両者は、ケルン・ラスワガディ・ガルチ・ラタマテ間の送電線（400KV）事業の実行可能性調査を行う予定である。</li> <li>(9) 20日、K Pオリ首相は、習近平国家主席と会談を行った。8つの合意文書・覚書が署名された。</li> <li>(10) 21日、駐ネパール・アラブ首長国連邦（UAE）のNaqbi大使は、UAEがネパールの鉄道や水力発電所などのインフラ開発に高い関心があると述べた。ネパール産業・商業・供給省の招待で、UAEから26名の代表団がネパールを訪問する予定である。</li> <li>(11) 25日、ヤダブ商業・産業・供給大臣と会談したUAEのAbdulla Ahmed al saleh外国貿易省課長は、ネパールへの投資を表明するとともに、ネパールに対し、租税条約及び投資促進・保護協定（IPPA）を締結するための準備に着手するよう述べた。</li> <li>(12) 29～30日、第9回ネパール・インド賢人グループ会合がカトマンズで開催。同会合の共同報告書を両国政府に提出することで合意。</li> </ul>
-----------	--